

花見会は驚きの天候異変

今年の「佐鳴台地区長寿を祝う花見会」は、昨年より1週間遅れの4月8日(土)に地区社協と自治会連合会との共催で10時から佐鳴湖畔で開催されましたが、桜は未だ散らずに参加者を待っていました。



18年度地区社協 織田会長



18年度連合会 二橋会長



花見日和のもとで、各芸能グループの方々の演奏や踊りが始まりました。



伝統文化子供会の皆さんの踊りが、参加者を和ませます。六丁目の岡本知雄さんの竹の妙技は、一瞬の早業で、両脇の牛乳コップを倒すことなく竹を割りました。演目が進む途中、「一天にわかにかき曇り」突如の突風と雨嵐となり、残念ながら予定より1時間もはやく閉会となりました。来年を期待しましょう。

(H18.04 編集子)